レッドフラッグ・アラスカ: 投下訓練
RF-A: Before the Drop

August 18, 2016

Original text by Staff Sgt. Michael Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

米アラスカ州でこのほど、「レッドフラッグ・アラスカ16－3」軍事訓練が実施された。同訓練は、毎年アメリカ空軍のほか同盟国や友好国の空軍が参加し、数週間に渡ってより実践的な航空戦闘訓練を行うもので、横田基地からは第36空輸中隊が参加し戦術空輸の強化を図った。

1

（写真1）アラスカ州エレメンドルフ・リチャードソン統合基地付近上空を飛行する横田基地のC-130ハーキュリーズ。

エアクルーたちは、演習空域を飛行する間、地上および空の兵器の標的にならないよう回避しながら飛行を行う。

2

（写真2）C-130Hから目標地点に向かって投下されたコンテナ輸送システムの物資。

投下物資は、地上部隊に物資を届けることを想定して投下されている。

3

（写真3）C-130Hにコンテナ輸送システムの物資を装置し、投下準備を行う第36空輸中隊のエンジェル・トレス上級空兵とジョエル・エイチャー上級空兵。

（写真：8月12日撮影）